

【Ⅱ子どもをはじめ若い世代を対象】

事業詳細

事業名	色音(いろね)であそぼう		交付決定額	170,000円	
趣旨・目的	「自由に絵を描く」というのは、子どもたちにとって意外と難しいことになっていると感じています。 「上手に描かないといけない」「決められた画材をきちんと使わないといけない」そんな感覚でいる子どもたちに、《描くってこんなに楽しいことなんだ》と感じてもらいたい。 それを叶えられる、長年ブラッシュアップしてきた、音楽と絵画の独自のワークショップです。				
実施内容	演目・曲目等				
	その場で鳴らす音を聴いて、「その音を描く」というワークショップを展開。 11色の絵の具を8セット(筆は各瓶に2本ずつ)準備して、描画の自由度を上げました。 巨大な用紙を使い、誰かと一緒に1つの作品をつくりあげる体験もしていただきました。				
実施日時	①令和7年8月11日(月・祝) 13:30～15:00 ②令和7年8月21日(木) 10:00～11:00		実施回数	2回	
	①ココクル平野 (八幡東区平野1丁目3-2) ②戸畑生涯学習センター (戸畑区中本町7-20)		参加人数	8月11日(月・祝)26名 8月21日(木)28名 計54名	
実施の成果	助成金活用による工夫や実施の成果				
	助成金により、準備する絵の具の「色の種類」を増やすことが出来、子どもたちの選択の幅を広げることが出来ました。また、筆を増やすことで、選びたい色を選べる機会が増えました。 「色音であそぼう」は、講師から「聴こえた音を、描いてください。音が止まったら、筆も止まるはずですね」とレクチャーがあります。子どもたちは、同じ音を聴きながらも、それぞれに思いついた色を選び、リズムや印象を形にしていきます。音色が変わると、筆を違う色に取り替えます。描き終わって眺めると「みんな色々だな!」と気が付きます。好きなところの紹介しあいでも、皆それぞれで、「人と違っていると恥ずかしい」という感覚から解放されます。「自由に描いてね」と言っても、とまどう子もいます。講師からの「子どもが夢中になるには、大人がまず夢中になってる姿を見せることです」の言葉に、保護者たちも没頭。そのことで子どもたちも「自由」になっていきました。参加者には「上手に描く」ことにこだわらなくてよい「自由」の楽しさを、全身で感じてもらえたと思います。				
	活動の様子				
					
最も注力した年齢層(計画)	6～11歳	参加者等の主な年齢層(実績)	0～未就学児	6～11歳	
(共催・後援・協賛関係機関がある場合) 名称と役割					
その他特記事項	チラシを学校配布の予定でしたが、有料公演は受け入れ校がなく予定より枚数が少なくなっています。				